



第30回子どもカルタ大会 1/15

町三石青少年育成協議会による『第30回子どもカルタ大会』が三石小学校で行われ、三石地区の小中学生51名が参加し、真剣勝負を繰り広げました。
三石かるた同好会と三石蓬菜子どもかるたクラブの会員が読み手を務め、札を読み始めると子どもたちは床を叩きながら気合を入れて、すばやい動きで札を取り合い、日頃の練習の成果を発揮しました。



防災祈願セレモニー 1/7

静内消防団（大滝裕団長）による『防災祈願セレモニー』がピュア前広場で行なわれ、多くの町民でにぎわいました。
阿部幸男副団長は「災害はいつ起こるか分からない。隣近所と日頃から備えをしていくことが大切」とあいさつ。セレモニーでは、町民が参加してのもちつきやもちまきのほか、木やり歌に合わせて団員が力強くまとい振りを披露し、今年一年の防災を誓っていました。



厚生労働大臣表彰伝達式 12/22

長年、社会福祉事業に従事し、社会福祉の発展向上に貢献した方に贈られる厚生労働大臣表彰（社会福祉功労）を下川原市太郎さん（三石豊岡）が受賞し、酒井町長から表彰状が伝達されました。
下川原さんは、延出保育所を運営する社会福祉法人延出福祉会の理事、理事長として、43年以上の永きにわたり、地域の児童福祉向上に尽力されました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



新ひだか町善行表彰 1/19

町は、昨年11月に公用自動車としてトヨタ自動車プリウス1台を3年間無償貸与された、ひだかトヨタ自動車販売合同会社（大山琢磨代表職務執行者）に善行表彰を贈りました。
酒井町長は「行政に自動車は必須のもの。また、燃費のいい自動車なので、有効に使用させていただきます」と感謝を述べ、大山代表職務執行者は「今後も行政に協力し、できることをしたい」と話しました。



郷土館おやこ塾 昔のおやつ体験 1/14

静内郷土館おやこ塾『昔のおやつ体験』が町公民館で開かれ、22組59人の親子が参加し、郷土館所蔵の民具資料を使用しながら「くるみもち」や「手焼きせんべい」など、昔ながらのおやつ作りに挑戦しました。
石うすでついたもちに、ひき臼で大豆をすって作った「きな粉」や、すり鉢でクルミをすって作った「クルミだれ」をからめて試食したほか、昔の農機具を使った米の脱穀なども体験し、昔のおやつ作りを楽しみました。



平成24年新年交礼会 1/5

町商工会などの産業団体が主催する新年交礼会が静内ウエリントンホテルで開かれ、町内の企業や団体などから約300人が出席しました。
主催者を代表して、日高中部森林組合の姥谷尚宏組合長が「厳しい経済状況ではあるが、地域の更なる絆を深め、辰年にちなみ昇り竜のごとく町が発展することを願いたい」とあいさつ。出席者は、五十嵐敏明新ひだか町議会議長の発声で乾杯し、お互いの新年の飛躍を願いながら歓談していました。



北海道社会貢献賞受賞 12/22

長年にわたり、市町村長や市町村議会議員、市町村職員として、地方自治の振興と発展に貢献した方を表彰する平成23年度北海道社会貢献賞（自治功労）の表彰式が札幌市で行われ、新ひだか町からは元副町長の畑端憲行さんが受賞し、高橋はるみ知事から表彰状が贈られました。
畑端さんは、昭和42年から旧三石町職員として職務に精励するとともに、平成10年に助役、平成18年に三石地域自治区長、平成19年から4年間は副町長として、職員時代に培った豊富な行政経験を遺憾なく発揮し、町政の振興発展に努められました。



発達障害セミナー 1/14

『発達障がいセミナー』が町公民館で開かれ、約220人が参加し、参加者は「発達障がいをもつ方に何ができるのか」を考えながら、講師の話しに耳を傾けていました。



交通安全祈願祭 1/12

静内地区の交通安全団体関係者による『交通安全祈願祭』が静内神社で行われ、参加者は、玉ぐしを捧げて今年一年の地域の交通安全を祈願しました。



冬休み子どもスクール 12/25

『冬休み子どもスクール』が女性センター・みらいで開かれ、子どもたちは慣れない作業に苦労しながらも、ワラを使ったお正月飾りを楽しそうに作成していました。



図書館フェスティバル 12/17

『図書館フェスティバル』が三石図書館で開かれ、マジック一竜による手品ショーや絵本の読み聞かせのほか、万華鏡作りが行われ、子どもたちは楽しい時間を過ごしました。